

THIS IS JAPAN

～日本「さあ 行こう！」(再考・再興・最高)FUND～



ID SL122061

応募区分 高校

学校名 慶應義塾ニューヨーク学院（高等部） Keio Academy of New York

チーム名 E-team

リーダー 櫻井芳野 Sakurai Yoshino 12年生

メンバー 石 欣怡 Shi Xinyi 12年生

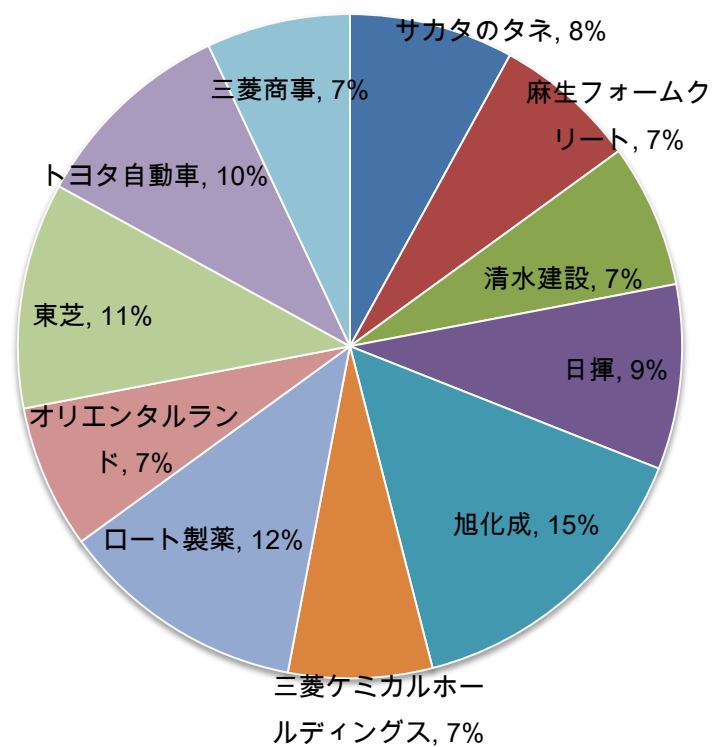
椋野 晶子 Mukuno Akiko 10年生

指導教官 W・ベイリーズ Baylies Winthrop

購入銘柄 11社

銘柄名	コード	上場市場	購入金額	割合
サカタのタネ	1377	東証一部	400000	8%
麻生フォームクリート	1730	JASDAQ	350000	7%
清水建設	1803	東証一部*	350000	7%
日揮	1963	東証一部*	450000	9%
旭化成	3407	東証一部*	750000	15%
三菱ケミカルホールディングス	4188	東証一部*	350000	7%
ロート製薬	4527	大証一部	60000	12%
オリエンタルランド	4661	東証一部	350000	7%
東芝	6502	東証一部 *	550000	11%
トヨタ自動車	7203	東証一部 *	500000	10%
三菱商事	8058	東証一部 *	350000	7%

上場市場の*は日経225銘柄を示す。



要旨/Abstract

2011年3月11日に起こった東日本大震災による津波、原発事故を経て、私たちの目に写った、日本の姿、日本人の素晴らしさ、そして日本企業の迅速な行動に大きな感動を覚えた。私たちは日本の復興に願いをこめて、11社のポートフォリオを作成した。テーマはThis is Japan、日本そのものだ。副題の「さあ 行こう！」には日本のゴールはどこか？ということ、「再考」には現状を見据え、何ができるか、私たちにもできることを考える意味を込めた。「再興」は輝く日本を取り戻すための復興プランの意味を、「最高」は海外から驚嘆、絶賛された日本人のすばらしさから、今後の日本の進むべき方向を考えるイメージを込めた。私たちが企業選択をする際、特に重視したのはCSR（企業の社会的責任）だ。レポートの最後で、日本の現状を踏まえて日本の経済について考えた。日本のGDPが世界3位になったこと、史上最高の円高（対ドル）、これらの現状を踏まえて今日本にできること、そして私たち若者にできることについて提言する。

目次/CONTENTS

購入銘柄一覧

要旨 ABSTRACT

1. はじめに INTRODUCTION

2. ポートフォリオを選ぶ方法 METHODS

(M1) 先人に学ぶ

(M2) ブレインストーミング

(M3) 情報収集（日経・ホームページ・会社訪問・インタビュー）

(M4) ライバルの存在・切磋琢磨

(M5) 決算書を読む

3. 分析結果 RESULTS

4. 考察 DISCUSSION

(D1) 日本はGDP世界3位に

(D2) 日本円史上最高値

(D3) 日本がすべきこと

(D4) 私達の使命

謝辞 ACKNOWLEDGEMENTS

付録 APPENDICES

(A1) 会社訪問・インタビュー詳細

① 旭化成 (E-team)

② 株式会社 麻生 (石・櫻井)

③ オリエンタルランド (棕野)

④ 被災地訪問 (棕野)

⑤ 留学生へのインタビュー (櫻井)

(A2) レポート完成までの歩み OUR STEPS TO NIKKEI STOCK LEAGUE

(A3) 参考文献・参考サイト REFERENCES

(A4) メンバー紹介 OUR TEAM

1. はじめに INTRODUCTION

以下は 2011 年 3 月 12 日のウォールストリートジャーナルが全米に伝えた大震災の第一報の記事である。

Quake, Tsunami Slam Japan

Death Toll in the Hundreds; Government Orders Mass Evacuation Near Damaged Nuclear Plants
Northeast Japan was a wasteland Saturday morning after the country's strongest earthquake on record triggered a 30-foot tsunami. The cascade of destruction killed hundreds, forced tens of thousands of people from damaged nuclear power reactors.

地震と津波 日本に

死者数百人; 政府 被害を受けた原子力発電所の近くの住民を大量疎開へ

日本の東北地方は、30 フィートも記録した津波を誘発した最大級の強い地震の後の土曜の朝、廃墟と化した。すさまじい破壊によって何百人も亡くなり、被害を受けた原子炉から何万人も移動を強要した。

地震のニュースはすぐさまニューヨークにいる私たちの元に届いた。そしてその被害はこの報告をはるかに超えていたことは私たちがよく知っている。

私たちは、愛する日本で起きた、3 月 11 日の震災の災禍を悲しみ、それから様々なことを学んできた。日本復興の手段の一つとして経済に何ができるか、人々が経済に何を望むかという視点から日経 STOCK リーグに取り組んだ。東日本大震災を機に、とりわけ CSR（企業の社会的責任）について考えた。ニューヨークで暮らす私たちに見えてきた日本の姿に祈りをこめ、ポートフォリオを作成した。テーマは This is Japan、日本そのものだ。副題の「さあ 行こう！」には「日本のゴールはどこか？」という意味を込めた。「再考」は、「1 億総評論家の一人で終わらず、変革への貢献を自分の立場でどうするかを考えてください。Not easy but not impossible!」と熱く語ってくださった麻生泰社長とのインタビューにヒントを得た。現状を見据え、何ができるか、私たちにもできることを考えた。「再興」という言葉には輝く日本を取り戻すための短期、中期、長期復興プランのイメージを、「最高」という言葉には、海外から驚嘆、絶賛された日本人のすばらしさ（逆境にあっても失わない秩序正しさ、感謝の心、思いやり）のイメージを込めた。考察では私たちが見た、現在の日本の経済について考える。日本が GDP3 位になったこと、円高であることについて考え、今日本にできること、そして私たち若者にできることについて提言する。

米国同時多発テロ事件からちょうど 10 年目、辛亥革命から 100 年にあたる 2011 年は激動の年だった。自然災害では、タイの洪水、トルコの地震、ニューヨークでも地震があった。10 月には米国東海岸に季節外れの大雪が降り、倒木、停電など大きな被害が出た。

1 月のチュニジアから始まった民主化運動がエジプトやリビアなどのアラブ諸国に広がった。「アラブの春」だ。Facebook や You-tube などを通じ、運動は広まった。情報はもう誰にも止められない。マンハッタンでは“Occupy Wall Street”と仕事のない若者たちが金融街を占拠し、今も進行中だ。ビンラディン、カダフィ大佐、金正日総書記と独裁者と呼ばれた人々も亡くなった年だった。

私たちは改めて、当たり前前に生きていることを、それ自体が奇跡であることを感謝する。だから感謝の心を忘れずに、一歩前に進みたい。

E-team メンバーたちは、春から Economy や Ecology の読書会をしてきた。私達の学校では 12 年生（高校三年生）になると選択授業がある。ECONOMICS（経済学）、POLITICS（政治）、AREA STUDIES（地域研究）、ECOLOGY（環境学）等である。どれを選択したらよいか、自分の学びたいことは何かを知るために、この春より図書館で読書会を始めた。これにクラブ（コーラス、茶道）と委員会（図書）で櫻井と会うことが多い棕野が合流した。日経 STOCK リーグの参加を決めてから、ポートフォリオのキーワードを探していると、Earth（地球）、Earthquake（地震）Energy（資源）Engagement（取り組み）、Equipment（設備）、Emergency（緊急）、Entertainment（娯楽）、Encourage（激励）、Endeavour（努力）、Evolution（改革）、Eternal Challenge（挑戦し続けること）と E で始まる単語に注目した。私たち E-team はメンバーそれぞれの「強み」を活かす「いいチーム」を目指して名付けた。

2. ポートフォリオを組む方法 METHODS

（M1）先人に学ぶ Precepts for living

私たちは読書会で、今年 AKB 48 の前田敦子が主演で映画化された「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーのマネジメントを読んだら」から読み始めて、ドラッカーのマネジメント、彼に論語の世界の扉を開けてみせた渋沢栄一、そしてバフェット等の本を読んだ。3 人に共通していることは、理論家であり、実践者である。そして私達は彼らを通して、経済、社会、人間を学んだ。下図は私たちが彼ら三賢人から学んだものであり、ポートフォリオを組む上で参考にした。特に、渋沢からは経済倫理、ドラッカーからはそれぞれの強みを生かした組織の作り方、バフェットからは会社の選び方について学んだ。多くの名言の中からメンバーがそれぞれ三種選んだ。

E-team が選ぶ三賢人 9 の言葉

< 渋沢栄一 >

- ・ 視、観、察の三つを以て人を識別せねばならぬ。
- ・ 『智』『情』『意』の三者が各々権衡を保ち平等に発達したものが完全の常識であろう。
- ・ 一人の楽しみは、決してその人限りに止まらず、必ず広く他に及ぶ。
- ・ 世人は、一も二もなく彼を順境の人と思うであろうが、実は順境でも逆境でもなく、その人自らの力でそういう境遇をつくりだしたに過ぎない。
- ・ 信用は実に資本であって商売繁栄の根底である。
- ・ できるだけ多くの人に、できるだけ多くの幸福を与えるように行動するのが、吾人の義務である。
- ・ よく集めてよく散じて社会を活発にし、従って経済界の進歩を促すのは有為の人の心懸くべきことであって、真に理財に長ずる人は、よく集むると同時によく散ずるようであってはならぬ。
- ・ 論語と算盤という懸け離れたものを一致せしめることが今日の緊要の務めと自分は考えている。
- ・ 経済に国境なし。いずれの方面においても、わが智恵と勉強をもって進むことを主義としなければならぬ。

＜ドラッカー Peter Ferdinand Drucker＞

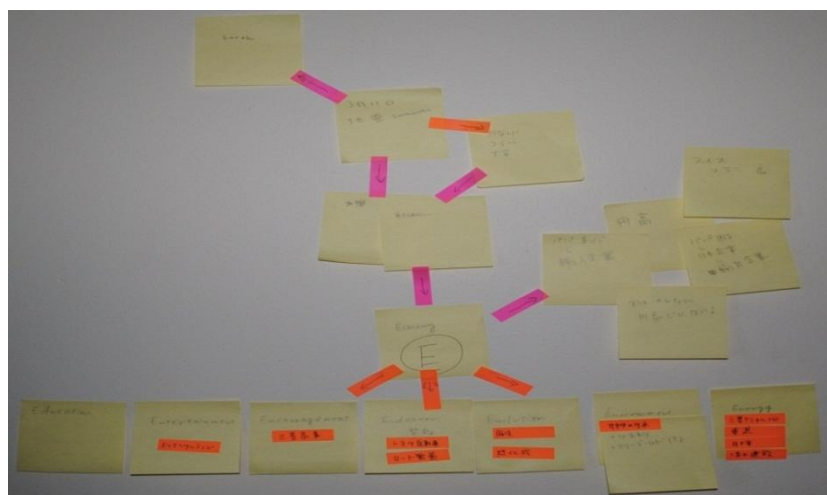
- ・企業が、より大きくなる必要はないが、不断に、よりよくならねばならない。
- ・企業は何よりも“アイディア”であり、“アイディア”を生むことができるのは個々の人間だけである。
- ・予期せざる成功・失敗にこそ革新への源が。
- ・自分がここで何を貢献できるかを考えよ。
- ・物事は、人が思ったり、言ったりすることの2倍かかる。
- ・問題解決を図るよりも、新しい機会に着目して創造せよ。
- ・革新とは、単なる方法ではなくて、新しい世界観を意味する。
- ・すべての文明、あるいは国の中で、日本だけは、目よりも、心で接することによって理解できる国だ。
- ・日本人の強みは、組織の構成員として、一種の「家族意識」を有することにある。

＜バフェット Warren Edward Buffet＞

- ・ 4つの投資基準
 1. 事業の内容が理解できること
 2. 長期的に業績がよいことが予想されること
 3. 経営者に能力があること。優れていること。
 4. 魅力的な価格であること。
- ・ 過去平均のROEが10%以上、ROEが安定している、無借金の会社の株を買うこと。
- ・ いい銘柄を見つけて、いいタイミングで買い、いい会社である限りそれを持ち続けること。
- ・ 株式市場は、短期的には人気投票の場にほかならない。しかし長期的には、企業の真の価値を計る計算機の役目を果たしてくれる。
- ・ 偉大な企業とは、今後25年から30年、偉大であり続ける企業のことだ。
- ・ 10年間市場が閉ざされても、持っていて幸せだと思えるものしか買ってはならない。
- ・ 投資家の目標は、理解できる事業を行い、今後5年、10年、20年と、利益が大きく増えることが、確実と思える企業の株式を買うことだ。
- ・ 周囲の人からそれなりの評判を得るには、20年かかる。だがその評判は、5分で崩れることがある。そのことを頭に入れておけば、今後の生き方が変わるはずだ。
- ・ リスクとは、自分が何をやっているかわからないときに起こるものだ。

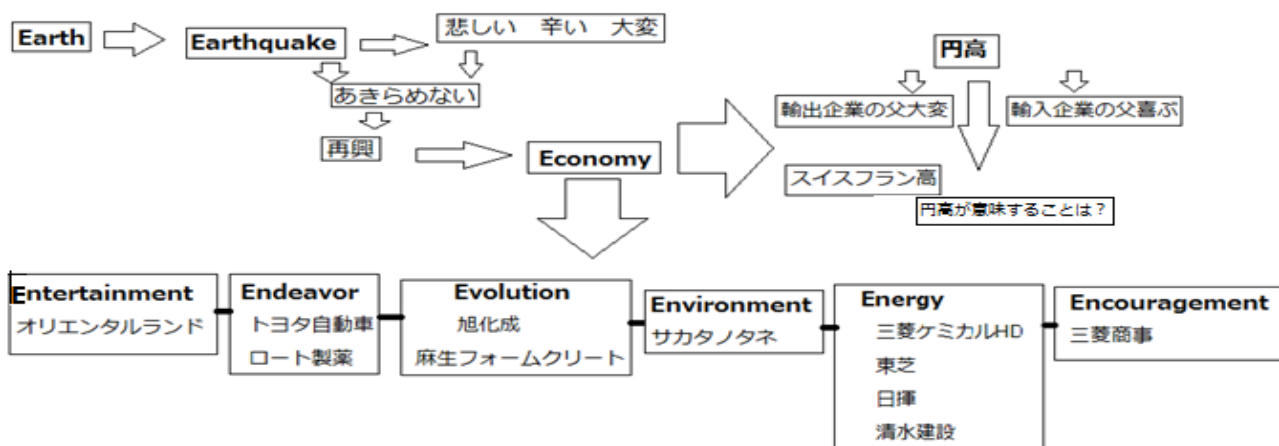
(M2) ブレインストーミング (Brainstorming)

ポートフォリオを作成するために、メンバーがそれぞれ意見を出し合った。それをポストイットに書



き、KJ 法でまとめ、写真のようなマインドマップにした。

写真ではわかりにくいと思われるので以下、チャートで清書した。



(M3) 情報収集

その1. 日経新聞を読む

その2. インターネットで企業のホームページを読む

ポートフォリオを組むために、日本経済新聞の記事や各企業のホームページなどから「視、観、察の三つ」（渋沢）を以て情報収集した。選択のポイントは私たちにも「理解できる事業を行い、今後5年、10年、20年と、利益が大きく増えることが、確実と思える」（バフェット）企業だ。しかも「不断に、よりよくならねばならない」（ドラッカー）努力を続けている企業である。

日経の関連記事を切り取り、ワードでまとめた。切り抜きはダンボールいっぱいになるほど集まった。ホームページから各企業が今回の地震で取り組んだこと、寄付や具体的な支援策をピックアップした。私たちが選んだ企業11社すべてにおいて、積極的にCSRを果たしていた。地震で被災された従業員とご家族、そして物理的に被害を受け、影響が大きく、世界的にダメージを及ぼした企業もあった。まとめたものは数十枚になり、レポートに載せることは割愛する。

その3. 足で情報を得る！会社訪問・インタビュー・視察

また、日経STOCKリーグに参加したのを機会に、3つの会社を訪問した。旭化成アメリカ、麻生グループ、オリエンタルランドである。旭化成も麻生も時代の流れに沿って、事業内容に変化を持たせることに成功した企業だ。旭化成では長年培ってきた技術を新分野で活かす創造力を学んだ。見えないところで活躍している多数の日本企業の素晴らしさに気がついた。麻生ではトップのあり方の大切さを学んだ。今年はオリンパスや大王製紙の不祥事から経営者の資質について考えさせられた。オリエンタルランドでは日本ならではのサービスについて学んだ。ディズニーランドはアメリカ、パリ、香港にもあるが、日本がいちばん素晴らしいという。棕野は実際に被災地に行き、現状をメンバーで分かち合った。日本の報道とは異なり、アメリカのメディアは生々しい死体の写真などそのまま掲載する。棕野の話を聞き、血の通った情報を共有できた。そして私たちには何か出来ることはないかと3人で話した。櫻井は東欧出身の二人の留学生からチェルノブイリと福島の話インタビューすることができた。2人は日本を絶賛していた。このような状況の中、暴動が起きず、秩序を保ち、お互いを思いやる日本人の姿に感動していた。世界中でこのような国は日本だけだという。「すべての文明、あるいは国の中で、日本だけは、目よりも、心で接することによって理解できる」（ドラッカー）国であることを誇りに思う。全員参加は難しかったが、「一人の楽しみは、決してその人限りに止まらず、必ず広く他に及ぶ」（渋沢）とあるように、自分たちの足で稼いだ、生きた情報を共有することができた。詳細は付録に添付した。



(M4) ライバル・切磋琢磨

今回ポートフォリオに組まなかったが、私たちの選んだ11社のライバルとして、お互いに切磋琢磨している企業が沢山ある。その中でも特に11社と良い競争をしている企業をピックアップした。競争があつてはじめて成長がある、と私たちはライバルの必要性を実感した。これらのライバル企業ではなく、この11社を選んだ理由を後の分析結果に示す。

購入銘柄	業種	ライバル企業	
サカタのタネ	水産・農林業	カネコ種苗	タキイ種苗
麻生フォームクリート	建設業	旭化成	住友金属鉱山シポレックス
清水建設	建設業	鹿島建設	大成建設
日揮	建設業	千代田化工建設	東洋エンジニアリング
旭化成	化学	東レ	帝人
三菱ケミカルホールディングス	化学	住友化学	三井化学
ロート製薬	医薬品	武田薬品工業	アステラス製薬
オリエンタルランド	サービス業	ユー・エス・ジェイ	
東芝	電気機器	パナソニック	ソニー
トヨタ自動車	輸送用機器	ホンダ	日産自動車
三菱商事	卸売業	伊藤忠商事	丸紅

(M5) 決算書を読む

会社の財務諸表を見れば、その会社がどういう状態なのか判断することができる。私たちはポートフォリオを組むにあたり、各会社のホームページのIR情報から決算書を読んだ。決算書には、貸借対照表 Balance Sheet (B/S) と損益計算書 Profit & Loss (P/L) がある。前者では、その時点で会社の財産がいくらあるのか（財政状態）、後者では一定期間において会社がいくら儲けたのか、あるいは損したのか（経営成績）がわかる。それぞれ私たちの健康状態と成績に相当する。もちろんこの2つだけで全人格がわからないのと同じように、企業も数字だけではわからない。しかし大きな一つの指標にはなると考える。

加えて、バフェットの4つの投資基準（1. 事業の内容が理解できること、2. 長期的に業績がよいことが予想されること、3. 経営者に能力があること、優れていること、4. 魅力的な価格であること）及び「過去平均のROEが10%以上、ROEが安定している、無借金」な企業の株に多く投資した。

	サカタのタネ	麻生フォームクリート	清水建設	日揮
コード	1377	1730	1803	1963
上場市場	東証一部	JASDAQ	東証一部*	東証一部*
Eグループ	Environment	Evolution	Energy	Energy
ウェイト	40万 8%	35万 7%	35万 7%	45万 9%
営業利益(百万円)	1,645 ↑	166	10,500	30,658
当期純利益(百万円)	990 ↑	100	4,531	19,080 ↑
PER(2011年)	38.72倍(11/22)	10.54倍(11/18)	22.63倍(11/22)	18.75倍(11/22)
EPS(2011年)	28.90(5月)	12.33(3月)	13.83(3月)	100.83(3月)
ROE	2.90%	3.50%	3.70%	10%

自己資本比率	85.9% ↑	50.8% ↑	21.9% ↑	54.5% △
設備投資(億円)	21	0.66	222	6561 百万円
研究開発(億円)	43	227 千円 △	72	49.97
E カンパニ一度	☆☆☆☆	☆☆	☆☆	☆☆☆☆

	旭化成	三菱ケミカルホールディングス	ロート製薬
コード	3407	4188	4527
上場市場	東証一部*	東証一部*	大証一部
E グループ	Evolution	Energy	Endeavor
ウェイト	75 万 15%	35 万 7%	60 万 12%
営業利益(百万円)	30,243 ↑	95,686△14.1	6,304 17.8% ↑
当期純利益(百万円)	19,384 ↑	37,504△14.7	4,077 13.1% ↑
PER(2011 年)	10.37 倍(11/22)	7.24 倍(11/22)	14.54 倍(11/22)
EPS(2011 年)	43.11(3 月)	58.72(3 月)	67.75(3 月)
ROE	10.40%	11.90%	10.60%
自己資本比率	48.3% ↑	24.3% 1.3% ↑	62.10%
設備投資(億円)	800	490△71	82
研究開発(億円)	660	673 30 ↑	40
E カンパニ一度	☆☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆☆

	オリエンタルランド	東芝	トヨタ自動車	三菱商事
コード	4661	6502	7203	8058
上場市場	東証一部	東証一部 *	東証一部 *	東証一部 *
E グループ	Entertainment	Energy	Endeavor	Encouragement
ウェイト	35 万 7%	55 万 11%	50 万 10%	35 万 7%
営業利益(百万円)	20,415 △26.4%	80,247 △23.4%	32,573△	168,606△15.4%
当期純利益(百万円)	8,675 △46.0%	22,669 △18.5%	81,581 △71.8%	245,690 △8.3%
PER(2011 年)	30.80 倍(11/22)	10.05 倍(11/22)	18.34 倍(11/22)	5.45 倍(11/22)
EPS(2011 年)	265.26(3 月)	32.55(3 月)	130.17(3 月)	281.80(3 月)
ROE	7.30%	16.10%	3.80%	13.70%
自己資本比率	58.20%	14.80%	35.30%	28.20%
設備投資(億円)	300	3,750	7,200	—
研究開発(億円)	0	3,500	7,600	237,609 百万円
E カンパニ一度	☆	☆☆	☆	☆☆

(注1) 日経225企業には*をつけている。日経225は世界でも注目されている指標で、アメリカのファイナンスサイトでもダウやS&Pと並んで表示される。私たちも注目した。

(注2) Eカンパニー度とはROEが10%以上、営業・純利益・自己資本比率が上がっているごとに☆を一つつけている。

3. 分析結果 RESULTS

私たちは上記の方法で、企業を選び、ポートフォリオを組んだ。特に東日本大震災への各企業のCSRに注目したが、大切にしたフィルターはその会社に魅力を感じるか、好きか、信頼できるかということだ。まさしく友人を選ぶのと同じだ。以下、私たちが選んだ11社の分析結果である。

(注) 総合評価は100点満点で、この点数を元にポートフォリオのウェイトを決定した。

<サカタのタネ>

Eグループ: Environment 環境で貢献

Eカンパニー度: ☆☆☆☆

ライバルよりE点: 優良企業(好業績・健全)

ヒマワリなどの植物が放射性セシウム除去に役立つというニュースを読み、種に興味を持った。サカタのタネは国内外(特に北米)で高いシェアを誇っている。質の良い製品を提供し、新種のタネの開発を行っている点に注目。「希望の種をまこう!」プロジェクト

総合評価: 53点

<麻生フォームクリート>

Eグループ: Evolution 変革で貢献

Eカンパニー度: ☆☆

ライバルよりE点: 気泡コンクリートのパイオニア

石炭からセメントへ、そして医療・介護、教育産業へと常に時代の要請に従って事業のあり方を変えていく姿勢に注目。気泡コンクリート工事、地盤改良工事、耐震補強で実績。今後受注増が見込める分野である。

総合評価: 46点

<清水建設>

Eグループ: Energy・Environment エネルギー・環境で貢献

Eカンパニー度: ☆☆

ライバルよりE点: 小さな可能性にかける(メタンハイドレート開発)

シミズの環境経営、清水地球環境憲章と明確に環境問題に関心を示す。メタンハイドレードで今後のエネルギー問題解決に貢献できる点、放射性物質除染技術に注目。

清水建設や北海道大学などはロシアの研究機関と共同で、次世代のエネルギー資源として期待されるメタンハイドレートを、水底から連続回収する実験に世界で初めて成功した。米国や中国など世界各国が商業生産に向け技術開発を競っている。日本も2018年ごろの商業化を目指しており、清水建設は4年以内をめどに今回の採掘技術を実用化する。メタンハイドレートは、メタンガスが高圧・低温の海底下や凍土の下にシャーベット状に固まったもの。日本近海だけでも国内で年間に消費する天然ガスの90年分が存在するとされる。水深1000-1500メートルの海底に豊富で、商業化には採掘技術の開発が鍵を握る。

(2009 年 2 月 19 日 日経)

土壌の放射性物質の汚染濃度を最大で 94% 低減する技術を開発した点に注目

総合評価：46 点

<日揮>

E グループ：Energy・Engineering エネルギー・エンジニアリングで貢献

E カンパニー度：☆☆☆☆

ライバルより E 点：世界 70 カ国以上 2 万件におよぶプロジェクトを遂行。

日本のエンジニアリング（製品を作る製造設備 {石油精製プラント、石油化学・化学プラント、LNG プラント、天然ガス処理プラント等} を造る）会社の代表企業。今後のエネルギー問題に活躍する点で注目。

従業員と会社の共同拠出によるマッチングギフト

スペインはドイツに次ぎ世界第 2 位の太陽エネルギー国だが、日本企業初の太陽熱発電事業への参画
(ホームページ 2010 年 9 月 3 日)

総合評価：60 点

<旭化成>

E グループ：Evolution 変革で貢献

E カンパニー度：☆☆☆☆

ライバルより E 点：特定の分野にとらわれず、長い歴史の中培ってきた技術を新しいものに活かす。

1906 年、曾木電気（鹿児島伊佐市）から始まり、日本窒素肥料、1922 年に宮崎県延岡市で旭絹織株式会社を設立。現在は化学、住宅、建材、エレクトロニクス、医薬品、繊維等の事業を行う各種子会社を統括する。時代の要請に従い、会社のあり方を変えていっている点に注目。

企業訪問で消費者の目の見えないところで活躍している企業だということが分かった。部品、材料や運搬等は消費者の目にはつきにくい、実は日本経済を支えている重要な企業だと気づいた。そんな企業にもこれから目を向けるべきであると感じた。

総合評価：99 点

<三菱ケミカルホールディングス>

E グループ：Energy エネルギーで貢献

E カンパニー度：☆☆☆

ライバルより E 点：トップにドラッカーのいう「真摯さ」を見る。

インクを使った新しい太陽エネルギーの形、炭素繊維の風車に注目

不祥事防止、最後は経営者の倫理の問題。企業が社会性を重視して行動するサステナビリティ経営への思いが最後のとりでになる。 小林喜光社長 （日経 12 月 9 日）

「和僑」を育む 小林善光社長 海外利益還流し新産業 （日経 12 月 19 日）

<http://www.nikkei.com/news/topic/article/q=9694E3E0E3E0E0E2E3E3E7E7E3E4>

総合評価：46 点

<ロート製薬>

E グループ：Endeavour 尽力な貢献

Eカンパニー度：☆☆☆☆

ライバルよりE点：長期の支援計画

「震災で親を失ってしまった子ども達を支援していく」という25年の長期支援計画を発表したことに注目。被災地へ義援金1億円（＋約1600人の社員から集めた寄付金1000万円超）、自社製品を提供。CSR活動の方針は「次世代支援」。「ロート製薬」、『カゴメ株式会社』と『カルビー株式会社』によって震災遺児の進学を支援する基金『みちのく未来基金』を立ち上げ、この3社を中心にさまざまな企業や個人から支援金を募るというプランを発表。「甚大な被害をもたらした東日本大震災において、真に復興の礎となるのはこれから育つ次世代の若者たちであり、彼らが夢や希望を捨てずに育つことこそが復興の要と考えております」

総合評価：80点

<オリエンタルランド>

Eグループ：Entertainment 娯楽で貢献

Eカンパニー度：☆

ライバルよりE点：老若男女を問わず、誰でも楽しめる。

埋め立てから始まり、ディズニーランド誘致、運営、そして日本ならではのきめ細やかなサービスは世界一だと思う。被災者に笑顔を取り戻したことに注目。

4月23日ミッキー&ミニーら被災地に笑顔届けた！

ミッキーマウス、被災地4か所を訪問

(<http://www.sanspo.com/shakai/news/110424/sha1104240505004-n1.htm>)

総合評価：46点

<東芝>

Eグループ：Energy・Environment エネルギー・環境で貢献

Eカンパニー度：☆☆

ライバルよりE点：原発への責任を果たす。

福島原子力発電所の安全確保に向けた協力支援。原発に関わった企業の責任として最後まで技術的な支援を全うしてほしいという点で注目。低炭素発電技術で持続可能な社会を構築

移動可能な放射能汚染土壌の浄化システムを開発 セシウム97%除去（日経12月27日）

総合評価：73点

<トヨタ自動車>

Eグループ：Endeavour 尽力の貢献

Eカンパニー度：☆

ライバルよりE点：トップの強い決断力、日本経済の大黒柱

豊田社長の「石にかじりついてでも日本でものづくり」宣言に注目。トヨタは日経での記事の掲載の量がずばぬけて多い。いかにトヨタの存在が大きいかがわかる。

国内生産体制再編へ 「環境が不利だといって簡単にあきらめない。石にかじりついてでも日本でものづくりに取り組む」 豊田章男社長（産経7月14日）

総合評価：66点

<三菱商事>

E グループ：Encouragement 士気を鼓舞する貢献

E カンパニー度：☆☆

ライバルより E 点：業界最王手、いち早く支援を表明したこと、

緊急支援奨学金（大学生・500名対象・年間120万円給付）

復興支援助成金（社会福祉法人、NPO 等・200団体・年間250万円給付）（日経）

社員への国際教育やボランティア休暇に注目。

総合評価：46 点

* 上場企業総合ランキング「NICES」発表（日経 11 月 30 日）

以下のように、11 社の中には日経新聞が独自に評価している企業ランキングに入っているものもある。

企業のステークホルダーに着目し、以下5つの指標から企業を日経が総合評価

投資家（Investor） E-team ポートフォリオ該当なし

消費者・取引先（Consumer） 16 位 東芝

19 位 三菱商事

従業員（Employee） 23 位 三菱ケミカル HD

社会（Society） 2 位 トヨタ自動車

10 位 三菱ケミカル HD

11 位 東芝

14 位 三菱商事

潜在力（上記の4つの基本的な指標と、これらを補完し、革新性や将来性を見る）

5 位 東芝

9 位 三菱ケミカル HD

26 位 トヨタ自動車

4. 考察 DISCUSSION

私たちは3月11日に起こった地震・津波・原発事故から、**This is Japan ～日本「さあ 行こう！」**
（再考・再興・最高）FUND～ と銘打った11社のポートフォリオを組んだ。さらに今の経済についても考え、提言をしたい。

(D1) 日本の GDP 世界3位に

2010 年、日本の GDP は中国に抜かれ、世界第3位になった。

GDP の計算式は $C + I + G + (X - M)$ である。C は Consumer Spending、I は Gross Investment (Business Investment)、G は Government Spending、X は Exports、そして M は Imports を表している。また、その国の中で生産されたものが含まれるため、他国に工場を持っている場合その工場で作られたものは、その工場がある国の GDP として計算される。アメリカや日本など先進国の場合、GDP の割合としては Consumer Spending が最大で、約3分の2を占める。しかし中国の場合、この Consumer Spending が少なく、逆に Exports が多くを占めている。前にも述べたように GDP には他国企業の工場での売上も含まれ

るため、そのような工場が多くある中国では Consumer Spending が日本やアメリカより大幅に少なくても GDP が上位になるほど大きくなる。中国政府は中国の更なる経済成長のため、この Consumer Spending の割合を増やそうとしている。GDP という枠組みだけで見ると日本の経済は中国より劣るということになるが、見方を変えると、その中国の GDP を支えているのは、日本企業が中国に立てた工場ということになる。つまり他国企業の工場の売上をその国の GDP に入れず、工場のオーナーの国の GDP に入れるとすれば、日本の GDP は中国を抜くはずである。日本の GDP は中国に抜かれたが、それは必ずしも中国より日本の経済が劣っているとは言えないのである。順位を競う必要なんてないと思う。これから日本がどういう国になるか、世界の中での役割を明らかにすることの方がもっと大事だ。

(D2) 日本円、史上最高値

現在ドルとユーロの価値が下がり、円とスイス・フランが高値を付けている。円の価値を考える一つの試みとして、英国の雑誌 The Economist で毎年発表されているビックマック指数 (Big Mac Index) に着目した。私たちはこの考え方を参考に、実際の為替レートをマクドナルドのビックマックの値段を尺度にして考えてみた。

(注) 以下は米国でのビックマックの価格だけの情報を利用し、私たちが独自に考えたもので、The Economist で発表されているビックマック指数とは一致しない。

	ビックマックの値段 (\$)	ドル/円 (¥)	日本円を換金してアメリカでマックを買うと(¥)
1995	2.32	84.2	195.344
1996	2.36	107	252.52
2000	2.51	106	266.06
2001	2.54	124	314.96
2008	3.57	106.8	381.276
2011	4.07	78.7	320.309

上の表を見ると、アメリカでのビッグマックの価格が年々上がっていることが分かる。これは一つの要因としてドル安が起こっていることが予測できる。2011 年日本円はドルに対して円高の史上最高記録を更新したが、バブル時の 1995 年と比べると実は円高ではないことがわかる。95 年時点ではドルは世界もろもろの通貨に対して十分高かった。そのドルに対して円は高かったので世界もろもろの通貨に対して円は実質上非常に高かった。しかし現在は 95 年と比べると、ドルは世界もろもろの通貨に対して安くなっている。そのドルに対して 95 年当時より円高だが、世界全体の通貨に対しては 95 年程円高とはいえない。つまりこの円高は円の価値が上がったことが原因ではなく、ドル安が原因と言える。

今の円高について考えてみると、次のようなことがいえる。

- ①現在の円高は日本経済の「強さ」を反映している訳ではない。主要先進国との相対的比較により「より安全な資産、通貨」として選択された結果に過ぎない。
- ②長年の景気低迷、少子高齢化（国内市場の縮小、労働人口の減少）、製造業の海外進出（国内産業の空洞化）、国家の債務残高、等々、を考慮すると、日本経済の先行きには不安が多い。加えて、現在の円高水準では輸出産業（国内で製造し、海外へ輸出）は成り立たない。事実、大企業のみならず、中小企業

も海外進出を真剣に検討せざるを得なくなっている。

③今回取材した各社でも、海外展開は必須要件となっている。円高を武器とした海外企業の買収も増えている。

④世界全体のサプライチェーン、分業体制。東日本大震災の影響で、米国内の日系自動車メーカーのみならず米国ビッグ3の生産にも影響を与えたこと。タイの洪水被害への対応のため、タイ人従業員が日本の工場に来てノウハウを伝授していること。つまり、ユニークな技術、優れたノウハウに国境はないという認識で海外展開を考えなければならないのではないか。

上記で挙げた問題点を踏まえて、日本企業は取り組んでいかなければならない。しかし、私たちはこれを好機ととらえたい。この震災や円高で失ったものも多かったが、得たものも多かったはずだ。こんな状況の中でも、11月28日、日銀の白川総裁は「日本経済が緩やかな成長を遂げている」と発表した。http://www.boj.or.jp/announcements/press/koen_2011/ko111128b.htm少しでも上向きになっていることに期待したい。そして次の世代である私たちも何とかしたいと思う。

アメリカ、ルイジアナ州、ニューオーリンズでは2005年ハリケーン「カトリーナ」の後、ベンチャー企業の集積地となり、西海岸からもIT産業が移動し、活気を取り戻しているという。東日本もきっと前よりももっとよくなる可能性があるはずだ。世界中から、よい企業をよべばいい。

(D3) 日本がすべきこと What Japan should do

～日本を、日本人を売り込め！～

日本が大好きな留学生とのインタビューにもあったが、日本政府の対応の遅さには、私たちも苛立ちを感じた。アメリカのメディアでも非難の記事が見られた。櫻井が昨年参加した「日本の次世代リーダー養成塾」の友人に夏休みに会った時、「自分は政治家になるつもりだったが、日本の政治家は選挙のことしか考えていない。自分の進むべき道は他にあるのではないか？経済の方がダイレクトに貢献できるかな？」と話していた。

経済の授業で、今の日本では節約や貯金に励み、お金が回っていないということが話題になった。また、日本国債はほとんど日本人が持っているということについて話し合った。野田総理は海外で日本国債のセールスをしたらどうか？EUに問題が生じている今がチャンスだ。少なくとも海外に売る努力が必要ではないだろうか？投資によって、経済が活性化すれば、企業はより多くの金を研究開発などの分野にも回せる。超成熟社会の今、三菱ケミカルの小林社長がいうように、雇用を確保する意味でも、新しい産業が必要だ。そして海外に出ていく「和僑」を育むことが必要だ。

海外で日本人だとわかると日本に関する様々な質問を受ける。アニメを通して、日本に興味を持つ若者が世界中で増えている。櫻井が夏に参加したプリンストンのサマースクールでも、「日本は明治維新と第二次世界大戦後どうして民主化があのようにうまく移行したのか？」というテーマで話した。日本のことをもっと学び、世界に伝えるべきだ。日本を知りたい若者が世界に沢山いるのだから。

(D4) 私達の使命 OUR MISSION

～賢い消費者、賢い投資家になって社会を変えよう！～

アメリカでは小さいころから、お金について学ぶ。駅に立ち、お手製のクッキーを売り、募金を集める。家の前に自分の使わなくなったおもちゃや洋服を置き、販売する。地域のスポーツの試合でレモネードを売る。芝刈り、雪かきやベビーシッターのアルバイトもある。稼いだお金は、慈善活動や試合の遠征の費用に充てられたり、投資に使われたりすることもある。子供たちはこのような活動を通して、経済（お金の流れ、社会の仕組み）を学んでいく。

ベイリーズ先生は経済の授業でアメリカでのお金の教育について話してくれた。

1. 年齢分を債権に投資する。例えば、私は18歳なので18%を債権に回す。
2. $100 - \text{年齢} = \text{株式に投資する}$ 。 $100 - 18 = 82\%$ を株に回す。

その理由は、若いうちはハイリスクでも後で挽回することができるからだ。万一失敗しても、そこから学べばよいという考え方だ。若いうちに失敗して、たくさん稼いで、利息を増やし、老後に備えなさいということだ。投資は最初の20年でよいという。後は運用益で生活せよという教えだ。自己責任の国アメリカならではの考え方かもしれない。また勤め始めるようになると、給料の一部を自動的に会社で運用を開始することもできる。401kプランだ。旭化成アメリカでも行なっていると聞いた。

実際、ベイリーズ先生の2人の息子さんたちは、プレゼントは現金で、その中からいくらかを株式に投資し、学んでいるそうだ。日本では考えられないのではないかな。日本ではお金は汚いものという考え方が根強い。洪沢は「論語と算盤という懸け離れたものを一致せしめること」が大切だと説く。日本でもお金の教育が必要ではないだろうか？お金がなければ何もできない。お金をどのように使うか？将来のために、お金をどうするか？ということは学ばなければ、わからない。正しい知識を身に付けたいと私たちは思う。日本は少子高齢化社会で、私たちの老後は年金に頼れないかもしれないという。自分のことは自分で、ということになりかねない。経済の中で生きている以上、これからは自分を守るためにも経済の正しい知識と運用は絶対不可欠だ。

資産運用するのなら、私たちは投資を通じて社会貢献をしたい。私たちが選んだ11社のように、震災後、寄付をしたり、ボランティア活動をしたりと、積極的に支援の手を差し伸べるような企業の製品を購入し、サービスを利用したい。私たちも消費者として、あるいは投資家として社会的な責任を果たすことができる。どこに投資をするか？ということはお金はどう使われるかということだ。そして私たちが投資に積極的に関心を強く示すことは、経済が私たちの手にあるということ意識することにつながる。私たちも責任投資によって、未来や世界に責任をもつことが可能だ。私たちにできることは、賢い消費者になり、賢い投資家になることだ。そうすれば社会を、世界を変えることができるかもしれない。もちろん賢いということは格物致知でなければならない。

5月22日、セントラルパークで、ジャパNDERというイベントが開催された。2007年から毎年行われている日米文化交流イベントだ。今回は特に東日本大震災への支援（祈り、募金、そして米軍の「友達作戦」など）に対する感謝が込められた。慶應義塾ニューヨーク学院のコーラス部は、ハーレムのコーラスグループや日本の歌手サーカスと共演した。棕野と櫻井も歌った。心から感謝を込めて。多くのニューヨーカーから温かいメッセージ、折り鶴、祈りと共に、募金をいただいた。音楽は言葉を越えた言語だと心から思う。津波の難を逃れ、体育館に取り残された人々が、寒さで一人また一人と倒れていく中、折れそうな心を励ましたのも歌だったという。歌のように経済も日本を元気づけられたらいい。

日本は必ず立ち上がる。世界中の人の祈りと応援を受けて。そして最高の再興を遂げ、私たちは「ありがとう！」と世界に感謝したい。さあ 行こう！日本!!! (本文 7283 字／図・表を除く)

謝辞 ACKNOWLEDGEMENTS

第12回日経 STOCK リーグに参加し、株式を学ぶことを通して、私たちは本当に素晴らしい経験をした。このような機会を下さった日経 STOCK リーグ事務局の方に感謝申し上げる。授業では掘り下げた経済の講義をし、またお忙しい中、私たち E-team を指導して下さったベイリーズ先生、日本経済新聞を置き、読書会の間私たちを見守って下さった図書館のセブランス先生、STOCK リーグ参加にあたり私たちグループをあらゆる面でサポートして下さった中澤主事、大谷先生、このレポートを作成するために特にお世話になった以下の方々、そして私たちを常に支え、惜しみない愛情を注いでくれる家族にこの場を借りて感謝の意を表したい。



Eteam members, Mr. Baylies, and Mr. President

3月11日午後2時46分、石と椋野はNYで夢の中、櫻井はアメリカン航空167便に乗っていた。翌日の第11回日経 STOCK リーグの表彰式に出席のため帰国の途にあった。成田上空で着陸の順番を待っていた正にその時、地震が起こった。成田には着陸できず、横田基地へ、数時間後、羽田空港に到着した。夜の11時を過ぎていた。羽田空港の国際線ターミナルには移動の手段を断たれた人々が床に座り込んでいた。見たこともない光景だった。ホテルについたのは翌朝6時だった。部屋に入り、テレビをつけ、やっと何が起こったのかわかった。式は中止になったが、日経の関係者の方々は私たちのために、ホテルまで足を運び、ロビーで表彰式をしてくださった。JTBの方は成田から12時間以上かけ、来てくださった。羽田から動けずにいた母と何回も携帯電話で連絡を取り続けてくださったと後で聞いた。東京にいる人々もまた被災した。電車は全て止まっていた。一体どのようにして来てくださったのか？どんなことがあっても職務を全うすること、これこそ企業で働く日本人の姿なのだと思う。地震という悲しい出来事だが、こういう日本人が日本を支えているのだ。海外にいるから見える日本のすばらしさを伝えたいと思い、参加させていただいた。伝えることが今の私たちにできることだ。

会社訪問・インタビューでお世話になった皆さま

ASAHIKASEI AMERICA, INC

麻生ラファージュセメント株式会社 社長 麻生 泰さん

福岡雙葉学園 理事

麻生ラファージュセメント株式会社 田川工場 工場長 川内 健司さん

生産課長 角野 貴俊さん

株式会社 麻生 秘書 田中 典子さん
株式会社 麻生 太田さん
飯塚病院 経営管理部 部長 岩佐 紀輝さん
学校法人 麻生塾 麻生専門学校グループ 教務本部長 林 宏治さん
麻生介護サービス株式会社 取締役 管理本部長 佐々木 昇さん
東京ディズニーランド キャスト カメダさん
鹿児島大学留学生 KHOMENKO MARIIA OLEXANDRIVNA さん
Nikolay Gyulemetov さん

皆さま お世話になりました。ありがとうございました！

付録 APPENDICES

(A1) 会社訪問・インタビュー詳細

- ① ASAHI KASEI AMERICA, INC (E-team)
- ② 株式会社 麻生 (石・櫻井)
- ③ オリエンタルランド (棕野)
- ④ 被災地訪問 (棕野)
- ⑤ 留学生へのインタビュー (櫻井)

(A2) レポート完成までの歩み OUR STEPS TO NIKKEI STOCK LEAGUE

(A3) 参考文献・参考サイト REFERENCES

(A4) メンバー紹介 OUR TEAM

(A1) 会社訪問・インタビュー詳細

① ASAHI KASEI AMERICA, INC. 訪問 (E-team)

11月4日一学期の試験が終了直後、三人で電車を利用し、マンハッタンのミッドタウンにある ASAHI KASEI AMERICA, INC. を訪問した。旭化成の企業概要や事前に送った質問等に答えていただいた。会社訪問で何う前は旭化成について漠然としたイメージしかなかったが、詳しい事業内容を説明していただき、旭化成がどのような企業なのか、どのように社会に貢献しているのか知ることができた。

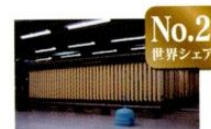
旭化成とは、旭化成ケミカルズ、旭化成せんい、旭化成ホームズ、旭化成建材、旭化成エレクトロニクス、旭化成イーマテリアルズ、旭化成ファーマ、旭化成クラレメディカル、そして旭化成メディカルと9つの事業会社を保有する持株会社である。

1. 旭化成ケミカルズ

「化学で未来を創る」を理念として、サランラップ、合成ゴム、マイクロザなどの独創的な技術で多彩な事業を展開している。当社の売上の46%を占め、世界シェア率も高い最も発達している事業と言える。原料から製品までを一貫して自社で手がけている。

ここで私たちが注目したのは「マイクロザ」という大量水処理精密ろ過膜である。これはもともと旭化成のせんい技術の歴史の中培ってきたそのせんい技術を利用し、水処理のろ過を開発したものであ

大量水処理精密ろ過膜「マイクロザ」
液体の分離、精製や除濁に用いられる中空糸膜。世界的な水不足や水質汚染の深刻化を背景に受注を伸ばし、世界で600ヶ所以上の膜式浄水設備で採用。浄水処理から廃水リサイクルなどにも事業領域を拡大し、水環境問題の解決に貢献します。



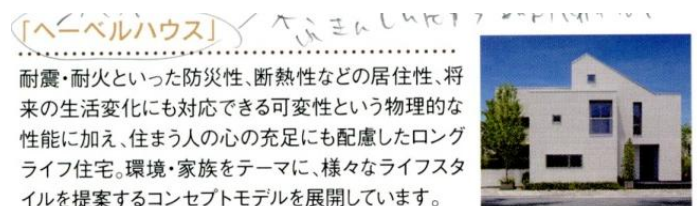
る。アメリカでは約 200 ヶ所の浄水場で使用されており、高品質と評判が高い。日本の技術力の高さを海外に示す製品である。また、この技術は人工透析等にも使われている。

2. 旭化成せんい

“Fine Answers now” をコンセプトに、長年培った高い技術力を活かし個性豊かな繊維を展開している。その中でもエコロジー繊維「ベンベルグ」は世界シェア率 No.1 である。長年のせんい技術を中国の品質とファッション向上に役立てている。元々はせんい業中心だったが中国等での安価なせんいの登場により、現在はケミカルズ中心となっている。しかしせんい業で培った技術はマイクロザや透析等様々な場面で利用されている。

3. 旭化成ホームズ

ケミカルの技術を生かした事業を行なっている。リフォームや不動産流通、都市開発などの周辺事業と一体となり住宅の価値を長く維持し続ける「ロングライフ住宅」の実現に取り組んでいる。中でも「ヘーベルハウス」は、旭化成建材で作った軽くて強い、軽量気泡コンクリート「ヘーベル」を使っており、地震に強いことで高く評価されている。



4. 旭化成建材

“For Safety & Amenity 安心・安全・快適宣言”と“お客様視点”をキーワードに、先進性を追求した高機能な製品と施行技術を提供しており、軽量気泡コンクリート「ヘーベル」はトップブランドである。また、高性能断熱材「ネオマフォーム」は、節電に役立ち、省エネルギーに貢献し、環境に優しいことで注目されている。

軽量気泡コンクリート「ヘーベル」

発売から40年を超え、現在も進化し続けるALCパネルのトップブランド。耐火性、断熱性、耐久性に優れ、地震にも強く、さらに軽量で施工性に優れているのが特長。日本の風土や建築事情に最適な建材として、住宅はもとより、東京ミッドタウンなどの大規模プロジェクトなど、様々な用途で採用されています。



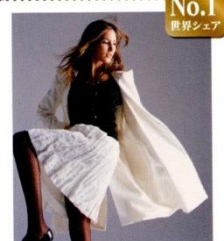
高性能断熱材「ネオマフォーム」

フェノール樹脂を原料とする発泡プラスチック系高性能断熱材です。世界トップレベルの断熱性能を長期間維持することができ、燃えにくく熱にも強いという優れた特長をもっています。また、フロン類を使用しない「ゼロフロン断熱材」として、地球環境にも配慮した製品で「平成12年度省エネ大賞」「第6回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞優秀賞」を受賞しています。



再生セルロース繊維「ベンベルグ」

コットンから生まれたキュブラ繊維「ベンベルグ」は、すべりが良く、美しい光沢、高吸湿・放湿性などの特長を持つ繊維。1931年に創業以来、裏地用途をはじめ、アウターやインナー、インテリアや寝装など様々なカテゴリーに展開を拡大。「未利用繊維を使用した繊維製品」としてエコマークに認定されています。



5. 旭化成エレクトロニクス

電子コンパス、音声認識センサーなどの独自のデジタル・アナログ混載技術であらゆるエレクトロニクス製品をサポートしている。

6. 旭化成イーマテリアルズ

「化学技術で環境に優しい製品を創出し、エレクトロニクスを中心に人類の発展に貢献する」を理念として“クリーンエネルギー”などの環境に優しい高機能なエネルギー・エレクトロニクス用材料を提供している。リチウムイオン二次電池セパレータ「ハイポア」は旭化成の隠れたヒット商品である。旭化成はこの「ハイポア」を小型化することで、コンピュータや携帯電話などの電子機器を小型化することに貢献している。

リチウムイオン二次電池セパレータ「ハイポア」
 携帯電話やノートパソコンなどに使われるリチウムイオン二次電池のセパレータ。0.05～0.5μmの微小な孔を多数持つポリオレフィン膜です。これら従来の用途に加え、電気自動車、ハイブリッドカーといった環境対応車向けの需要拡大も予想され、技術・製品開発も強化し、世界トップメーカーとしての供給責任を果たします。

■製品名／リチウムイオン二次電池セパレータ「ハイポア™」



7. 旭化成ファーマ

医薬品などを中心に幅広いヘルスケアビジネスを展開している。骨粗鬆症治療剤「エルシトニン」、排尿障害改善剤「クリパス錠」、日本初の SNRI の抗うつ剤「トレドミン」、差開発の遺伝子組み換え型製剤血液凝固阻止剤「リコモジュリン」等、独創性の強い新薬を開発し、特定のマーケットで高い競争力を発揮している。

8. 旭化成クラレメディカル / 旭化成メディカル

「中空糸型人工腎臓」をはじめとして、輸血用血液フィルターなどの各種昨日材料で世界の医療進化に寄与している。血液をテーマにした新たな製品開発や治療技術の普及・開発に取り組んでいる。世界シェア率 No. 1 も多くトップメーカーの地位を確立している。高いせんい技術を利用した人口腎臓やウイルス除去フィルター「プラノバ」、白血球除去フィルター「セパセル」等が注目されている。

透析
 世界60カ国以上の人々に人工腎臓を供給するトップメーカーの地位を確立。

人工腎臓
 独自の膜分離技術をもとに、人工透析に用いられる中空糸膜人工腎臓を開発。国内1位、世界2位のトップメーカーとして、グローバルに事業の拡大を図っています。生体適合性と透過性に優れたポリスルホン中空糸膜人工腎臓「APS」をいち早く発売し、透析治療における事実上の標準となりました。



アフエレス
 アフエレス（血液浄化）治療分野のバイオニアとして、自己免疫疾患や難病治療に新たな可能性を追究。

アフエレス
 アフエレス治療は、自己血液を体外に導き、血液中に存在する病因物質を除去（分離・吸着）した後に体内に戻す治療法。薬物治療が困難とされる難病治療分野や予防医療分野での大きな発展が期待されています。当社は、アフエレス治療で使用する膜分離技術、吸着技術を用いた各種製品の開発から装置操作、治療手技の向上、高度な血液浄化治療システムの開発まで積極的に取り組んでいます。



プラノバ
 血漿分画製剤、バイオ医薬品の製造工程で、ウイルスなどの病原物質を除去。

ウイルス除去フィルター「プラノバ」
 世界初のウイルス除去フィルターとして開発されたプラノバフィルターは、日本をはじめ世界中で、バイオ医薬品、抗体医薬品のウイルス安全性向上に大きく貢献しています。



白血球除去フィルター「セパセル」

輸血時には、発熱や悪寒などの副作用が起こることもあります。「セパセル」は、その副作用の原因となる白血球を除去するために使われるフィルターで、全世界に供給されています。



<インタビュー> 省略

②株式会社 麻生 訪問（石・櫻井）

麻生ラファージュセメント株式会社 麻生 泰社長とのインタビュー

麻生泰君（慶應では先生は福澤諭吉師ただ一人、すべての敬称は老若男女問わず「君」である。慶應の伝統に則ってここでは君を使わせていただく）は慶應の大先輩だ。2011年1月11日慶應大学での「福

澤先生誕生記念会」に櫻井が招かれた時、若者教育に尽力されている麻生君とお話したのがきっかけで、今回日経 STOCK リーグ参加に際し、企業訪問、トップへのインタビューを快く引き受けてくださった。



インタビューは2011年8月6日、有明海を一望できる株式会社 麻生福岡本社応接室で行われた。麻生グループ ホームページにある「麻生泰のメッセージ」<http://www.aso-group.jp/message/message.php>を読み、事前に質問事項をEメールでお送りして、石、櫻井が質問することに、直接回答をいただいた。前日には御好意により、麻生グループ 麻生ラファージュセメント、飯塚病院、麻生塾（専門学校）、麻生介護サービスを訪問、見学させていただいた。石は神戸から、櫻井は鹿児島から、棕野はニューヨーク在住のため質問のみで参加した。

Q: 株式会社には公開しているところと非公開のところがある。株式会社 麻生、麻生ラファージュセメント株式会社は非公開であるが、そのメリットとデメリットは何か？

A: 弊社は今のところ非公開でやれると判断し、1社を除き、非公開である。

メリット

- ・オリジナリティを保てる。
- ・オブリゲーションがない。
- ・ロングタームでミッションやビジョンを考えられる。

デメリット

- ・のんびりしてしまう。
- ・緊張感に欠ける。
- ・知名度を上げるには不利
- ・資金調達においては不利

Q: セメント分野では、フランスのラファージュ社と提携しているが、海外の企業との提携のメリット、デメリットは何か？

A: 弊社は2001年に世界最大手のセメント会社であるフランス・ラファージュ社と合併会社を設立しました。両社が持つ利点を最大限に活かし、グローバルな視点で大胆な選択と集中を進め、収益構造を改善しました。

メリット

・マネジメントを学びました。ラファージュ社の利益率は22%、それに比べて日本は大手でも4%です。アメリカは短い期間での目標を立てるが、ヨーロッパは長い期間での目標を立てる。コミットメント（目標）を必ず立てる。それは心構えにもなるし、対策を立てることにもなる。約束ごとだから、言い訳せず、絶対に達成するということです。それによって予期せぬ結果を得るのです。

・提携前、会議では筑豊弁が飛び交っていましたが、今は英語になりました。社員には「とにかく意見を言うこと。わからなければ日本語でもいい。通訳がいるのだから。困ったら、笑わずに “I don't think so.” と言おう！」と言っています。数年経って、言語には慣れてきたように思います。構成は、200人中 役員として、フランス人2人、その他イギリス人1人、韓国人1人です。

デメリット

・ちょっと冷たくなったかな。今まではお付き合いがあったから、おまけしてあげようとか、大器晩成型の人物でも採用しようとかということがありましたが、定価販売、即戦力となる人材を求めるようになりました。アメリカ的マネジメントスタイルよりはいいかもしれないが、会社がドライになりました。

Q: 麻生グループを経営するうえでのマネジメントについて。

A: 自分の将来のビジョンとは「合わないなあ」と思うような会社はその分野のトップ企業に売却しています。それによって資金を調達できたこともありましたが、そこで働く人もハッピーでいてほしいので良かったのではないかと考えています。興味の無いことには突っ込まないと決めています。

ジョイントベンチャーでもこうすればできるということを示したかった。生き残れるということを証明したかった。

・自分の務めは、マネジメントの基本であるが、スタッフとコンタクトをよくとること。歩きながらもコミュニケーションをする。スタッフも自分を見ているから、頑張らなきゃと思う。人を勇気づけること。ハッピーにすることです。先生がハッピーなら、生徒はハッピー。医者がハッピーなら、患者はハッピー。現場力とチームワークはすべての事業でやりたい。今朝（インタビューは11時に開始、飯塚から福岡本社まで車で約40分）も飯塚病院で院内ラウンドをしてきました。

Q: 「会社は社会の公器である」といわれる。株式会社 麻生では社会に必要な医療、教育の分野にも進出し、地域社会に貢献しているが、この分野で特に強調されたいところは？

A: 我が社はもともと石炭から始まりました。地域貢献から祖父が病院を、父が学校を作り、この2つの分野は、官と民が戦っています。民間の良さを生かし、無駄を省いた経営を行い、地域に貢献したいと考えています。

例えば、株式会社の病院は国内に約60ありますが、そのほとんどが社員のためにつくられたものです。飯塚病院は地域のために、「We Deliver The Best. ~まごころ医療、まごころサービス、それが私たちの目標です~」を目指しています。現在少なからぬ病院、特に地方の病院が経営難となり、閉院している。患者はどうなるのか？地域住民は大変困る。きちんとした経営で、つぶれないで続けていくことが病院の使命であり、真の意味での地域貢献となります。飯塚病院を日本一のまごころ病院にして、地方から日本を、世界を変えたいのです。飯塚システムが病院経営のお手本となるようにしたいと思います。

また、麻生塾は西日本最大の専門学校に成長し、就職率は99パーセントです。若者が入学してから卒業するまで変わっていく、その姿を見るのが嬉しいのです。

日本の教育は協調性を求めてきました。今後は個性をどう伸ばしていくかという教育が大事ではないかと思う。個性と協調性のバランスが求められている。常識、道徳（特に思いやり、感謝の心）はしっかり教える。学生一人一人の良さを見つけて伸ばす、そして努力し、勝つ喜びを味わってもらう。出会いが大切です。

Q: 御社の MELDS はどのような形に発展しているか？

（M：医療 E：教育 L：女性の社会進出サポート D：不動産開発 S：システムソルト事業）

A: MEL はかなりいいところまで行っていると思う。それぞれリーダーも育ってきています。

D と S は今後成長を望むところです。セメントは質の良いものを日本国内の顧客に提供してきました。ど

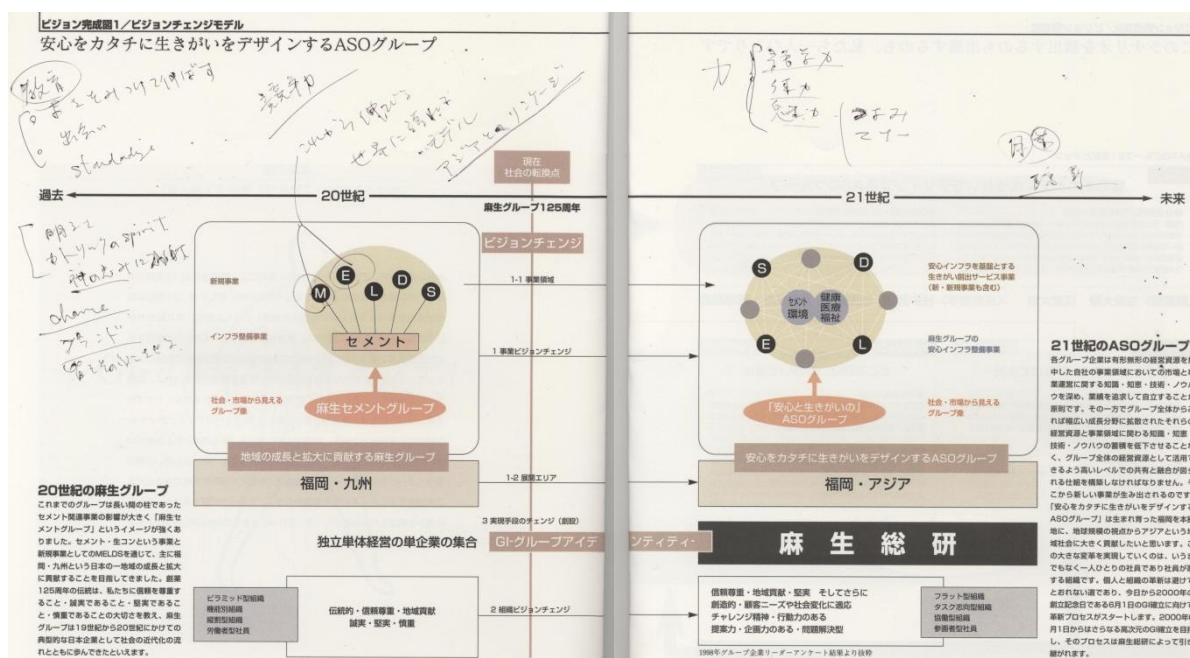
の分野でも大きさを競わず、本当によいもの、質の高いもの、満足度の高いものを提供したい。

先進国、日本は高齢化社会になり、M の分野がこれからますます成長していくと思います。よりよい教育が求められることは E の成長に期待ができる。またこの分野において、定年後、働き始めたら元気になったということを目にします。高齢者を積極的に雇用していきたいと思っています。若年者の雇用問題はグローバルな問題です。しかし医療分野でリーダーとなるような若者を輩出し、アジア諸国で活躍してもらいたい。だからこそ若者の内向き傾向は心配です。コミュニケーションスキルを持ち、自分の強みを知り、本当にやりたいことに打ち込んでもらいたいと思います。

L 女性の社会進出には力を入れています。看護師、女医のための 24 時間 365 日の保育所を飯塚病院内に設置し、お母さんが安心して働けるように努めています。

また女性のライフワークバランスを考慮し、時間に配慮した仕事のあり方のシステムを作っていきたい。もちろんそのために託児所は必要だと考えているし、ひとつひとつやっていきたいと思っています。

今 MELDS がリンクしてきたと思う。いつか麻生の飯塚モデルとして、中国や韓国、アジア諸国にコピーされるような都市づくりをしたい。飯塚をそういう街にしたい。



Q: トヨタ方式について触れているが（平成15年12月1日）、御社ではどのような取り組みをしているか？

A: トヨタのかんばん方式は学ぶことが多い。

* かんばん方式とはトヨタ生産方式をさし、ムダを付加価値を高めない各種現象や結果と定義し、作り過ぎのムダ、手待ちのムダ、運搬のムダ、加工のムダ、在庫のムダ、動作のムダ、不良をつくるムダの7つを挙げている。これらを排除し、極力在庫を持たず、必要なものを、必要な量だけ、必要な時にジャストインタイムで生産するなどの特徴を持つ。

例えば、飯塚病院では、TQM (Total Quality Management) を採用している。それは、全員・全体 (Total) で、医療・サービスの質 (Quality) を、継続的に向上させる (Management) ことだ。QC は、工業やその他の業界において、数多くの成功をおさめており、当院の経営理念 “WE DELIVER THE BEST ～まごころ医療、まごころサービス それが私たちの目標です～” を実現させる為に、もっとも有効な手段の一つであると考えられた。TQM は「TQM をやる」ことが目的なのではなく、「TQM によって、質を向上さ

せる」ことが目的である。「職員一人一人が、その手法を身につけることによる、質的向上と改善を進める体質作り」と言え、CS（顧客サービス）へ向けての土台作りとなる。

アメリカ、シアトルのバージニア・メイソン・メディカルセンターではトヨタ生産方式を使って病院を運営し、診察の質の向上を改善している。飯塚病院では人的交流など、バージニア・メイソンから多く学んでいる。

Q: 様々な分野に携わっているが、どうやってすべてをコントロールしているか？

A: 様々な分野に進出しているが、

- ・ 任せるところは任せる。ロマンは語るが任せる。
- ・ セメント会社、病院、学校すべて自分で作ったものではなかった。今まであったものを変えていっただけです。しかしやるからには日本一にしたいという思いでやってきました。

Q: メッセージの中（2002年10月）で、韓国経済を例に、リーダーシップの重要性「改革の推進を実行したリーダーシップ」と国民性「理解し痛みを分けた国民」力“ ”について書かれているが、3月の震災の後、今の日本で正に必要なところであると思うが、どのように考えているか？

A: 今本当に求められているのはリーダーシップです。しかし残念ながら発揮できていない。日本の明るい未来をトップが示さなければ、国民はついてこない。日本人は目標に向かって頑張れる国民です。東京オリンピック等が良い例です。

この地震を機に、日本にとって友人となる国がどこか明確になったように思います。日米関係は今まで当たり前だと思ってきた人が多いでしょう。認識があいまいだった。しかし今回アメリカは日本のために本当によくやってくれた。改めて日米関係について考えさせられた。韓国、中国は近くて遠い国といわれる。日中韓の関係は時間がかかるでしょう。

Q: 震災後、円高と重なり、産業の空洞化がますます心配されているが、御社はこれからも日本で（飯塚）やっていくのか？

A: 当社では輸出はしていないので、あまり影響はない。セメント部門で、原料を輸入している面はメリットである。FROM FUKUOKA 福岡から日本を変えようというスローガン FF 運動をさらに促進したい。飯塚を世界の「飯塚モデル」といえるような街にしていきたい。

Q: 現在の円高についてどう思うか？

A: 円高は輸出を主にするメーカーにとって大打撃だ。

日本国内では、「①需要は伸びない ②税金高い ③資源がない ④人件費高い」という理由から日本離れがおこっている。加えて福島原発事故で、電力が使えない。メーカーが海外へ活動の拠点を移しているのも、生き残りをかけて必死だからです。産業の空洞化も避けられない。

しかし、結果的に日本はよくなると思う。必ずよくなる。そうしなければいけない。例えば、医療と教育は今後も伸びるでしょう。どんなにお金がかかっても、誰でも良い医療、良い教育を受けたいと思うからです。日本は高齢化社会です。これをチャンスと考え、だからこそこの分野を磨きあげ、世界のモデルとしたい。このシステムはアジアへ、世界へ持って出ていける分野です。国内ではチェーン化するなどどんどん増やしていくことも考えている。

ラファージュ社は海外進出しているが、セメント分野で海外進出しようとは思わない。麻生のセメントなら信頼できるというくらい本当によいものをこれからも国内の顧客に提供したい。

Q:3月11日に起こった地震・津波に対する御社の取り組みは？

A:可能な限りバックアップしたい。具体的には

- ①3月14日に「親父 麻生グループから東北に1億円出そう！」と長男から電話があった。「麻生のよ
うな小さな会社が行動を起こすことによって、他の企業も追随するだろう」と。それで1億円寄付
した。
- ②飯塚病院から医師・看護師、医療スタッフを派遣し、米軍の下で活動した。
- ③飯塚市と相馬市は関係があることから、震災孤児に、18歳になるまで月額1万円の奨学金を出すこ
とを決めた。
- ④被災地の瓦礫を購入し、セメントの原材料にしている。

日本人は目標があれば頑張れる。だから日本の明るいビジョンを示し、3年後、5年後の日本の姿を明
確にしていかなければならない。今はまだそれが出ていない。強いリーダーシップが必要です。

Q:若いころ、自分の将来が決まっていることに不安はなかったか？

A:なかった。家のためならやろうと思った。兄が政治家になり、我が家のホープである2番目の兄がボ
ートの事故で早世した。見えないメッセージを感じていた。

親の作ったものに「広いグローバルなプレーヤー」を加える。自分にはその責任とそうしたい夢があり
ます。

Q:同じように家業を継ぐことを期待されている若者に一言

A:プレッシャーじゃなくて、恵みに感謝する。スタート台が高いということは大きなチャンスです。前
向きに考える。但し、責任は持つ。親とよく話し合うこと。ロマンを広げ、視野を拡大してほしいと思
います。

Q:「語学力をつけること、日本のプレゼンスを高めること」について強調し、視野を広げること、可能
性を伸ばすこと、View Openという言葉でエールを送っていることに感銘を受けたが、私たち、今の日
本の若者に一言

A:若い人たちにいつもいっていることですが、身につけてほしい力が3つある。体力、語学力、魅力で
す。体力と語学力は絶対必要です。魅力というのは相手を思いやる心が大切です。マナーを身につけ、
自分の強みを生かし、やりがいを持って、ロマンを求めてほしいと思います。

夢は“not easy but not impossible”（実現するのは簡単ではないが、不可能ではない）です。生涯学
習が必要です。一流を見、自分よりすごい人に出会うことで視野を拡大する。感謝心を持ち、受け身に
ならない、すべきことをする。いろんなことに、人に出会う機会をつくる。自分が恵まれていることに
気付いてほしい。2011年に17～8歳で、日本人であることの恵みをしっかり受け止めてほしい。もし
もアフリカ、例えばソマリアに生まれていたらどうだろうか、そのように考えたら自分の幸せを感じる
ことができると思う。感謝だけで終わらせないで、志を持って、時間を大切に生きてほしいと思います。

Q:麻生塾の経営、福岡雙葉学園理事長、バッカーズ寺子屋、日本の次世代リーダー養成塾への社員派遣
等若者の教育に力を入れているが、その理由は？

A: 子供には可能性がある。子供は教えれば変わる。今の子供たちが心配です。若者の考え方があまりにも内向きで、ハートは良いのだが、きちんと教えられていないのが現状です。若者には良い出会いをしてほしい。

今国民全体が評論家になっている。批判や気楽なコメントばかりしていないで、自分がどうすべきか？自分に何ができるか？に気付いて行動することが大事である。だから子供の将来を憂う前に若者の教育に自分なりに行動をおこしています。

Q: 原動力は何か？向上心の源は何か？

A: 母親がカトリックで子供たち 6 人は皆幼児洗礼を受けた。カトリックのスピリットである神の恵みに感謝。プラス思考の明るさ。チャンスをいただいていることに感謝し、さらに前進したいと思う。

Q: 尊敬する人物は？

A: 第一に、父と母。

自分の死後、両親に再び会ったときに、「泰 よくやった」と褒めてもらいたい。

母は外交官の娘で、英語・イタリア語・フランス語に通じ、海外生活が長かった。ロンドンから筑豊に嫁に来たが、相当なカルチャーショックを受けたそうだ。真剣に毎日を生きていた両親です。

多くの素晴らしい師と出会ったが、中でも**慶應大学 ラグビー部 中須早二良監督**

監督のメッセージは「己に勝ってとにかくやる」

その意味は「しっかりと練習しろ。自分に甘えるな。目標を決めそれに向かって進んでいくことは簡単なことではないが達成への近道をしているのだと信じて勧め」という生き方の勧めである。

また企業人で尊敬する人物は、**京セラ創業者の稲森和夫さん**

言葉だけでなく実績がある。確固たる哲学・宗教を持っている。素晴らしいと思う。

Q: 吉田茂首相（祖父）、麻生太郎首相（兄）のように政治の道に進もうとは思わなかったか？

A: 政治には非常に関心がありました。正直なところ、オファーもありました。しかし自分が政治の道に進んだら、一体誰が麻生（会社）を守ってくれるだろうかと考えました。自分に与えられた恵みに感謝し、チャンスととらえ、前向きに事業の道を選びました。その選択に満足しています。もしも政治家になっていたら、このような時間（私たち 2 人のインタビュー）を持てなかったですね。

フレンドリーで、紳士的な麻生君とのインタビューでは、飯塚地方の方言である筑豊弁やオックスフォード時代に培った英国英語がところどころ出てきた。予定の 1 時間が過ぎ、あっという間に 2 時間もお付き合いいただいた。最後に、使い込んだ黒の鞆の中から 1 冊の大学ノートを取り出し、見せてくださった。秘密兵器だ！日記魔であるという麻生君は 30 年以上にわたり、100 冊を超える大学ノートに自分の思いを綴っている。1 ページ目にはその時々大切にしている座右の銘が記され、1 日 1 日、起床時間・就寝時間、その日にあったこと、感じたこと、考えたことが、自分自身、会社、日本、世界という立場から書かれていた。誰にも見せたことのないという現物を見せていただき、感動した。麻生君は多くの社員、グループ関係者の名前をよく覚えている。ここに正にトップにある人のその努力の片鱗を垣間見た。（文責 櫻井芳野）



インタビューを終えて （石）

誰がなんと言おうと、私は麻生太郎元首相の大ファンだった。だからお目にかかれると聞き、すぐに「行く！」と返事をした。さすが兄弟、お二人はとてもそっくりだった。

私たちがドラッカーを読んでいると話すと、以前ドラッカー夫人を自宅に招き、食事中に突然倒れた夫人を、麻生社長が救ったことなど話してくださった。病院経営に従事しているので、救命救急の知識が役立ったそう。そういう知識を私たちも学ぶべきだと思った。

お話の中で、奥様のお名前がよく出てきた。私たちに「よいパートナーを選びなさい」とアドバイスしてくださった。お二人は理想的なご夫婦なのだと感じた。

社員一人一人とコミュニケーションを取るお姿を拝見し、改めて麻生社長はトップにふさわしい方だと思った。

③ オリエンタルランド訪問 （棕野）

東京ディズニーランドのキャストの方にインタビュー



7月24日、東京ディズニーランドへ行った。今回私たちがポートフォリオに組んだオリエンタルランドが経営を行っている、日本を代表するテーマパーク、東京ディズニーランドを実際に視察するためだ。総合案内所（インフォメーションセンター）のカメダさんにお話を伺った。一つ一つの質問に丁寧に答えてくださったカメダさんに、感謝の意を申し上げたい。尚、会社の方針のため、詳しく答えることのできない内容もあるとのことだ。

Q1 キャストになろうと思ったきっかけは？

A1 個人的な答えで申し訳ないのですが、ディズニーが好きだからです。

Q2 どのような時に、仕事のやりがいを感じるか？

A 困っているゲストを助けた時にやりがいを感じます。例えば、お連れの方とはぐれてしまったゲストの方に「見つかりましたよ！」と伝えた時に、喜ばれたりすると、とても嬉しいです。

Q3 キャストになってよかったと思うときは？

A やりがいを感じる時です。

Q4 仕事場の雰囲気は？

A 皆チームワークが成り立っているので、困っているとすぐに助けてくれます。とてもいい雰囲気です。

Q5 キャストという仕事を通して学んだことは？

A 自分自身も、ディズニーランドで働いていることを楽しむと、ゲストもたのしんでくれるということです。

Q6 日本人以外のゲストには、どのように対応しているのか？

A まずは簡単な英語で対応して、それからその言語を話せるキャストを呼びます。すべてのキャストが外国語を話せるわけではありませんが、現在は英語、フィリピン、ドイツ、韓国、中国語などの言語を話せるキャストがいます。

Q7 日本人以外のゲストでは、どの国からのゲストが多いか？

A 統計上の詳しいことまではわかりませんが、中国からのゲストが多い気がします。

Q8 3月の震災で、一時休園しましたが、再開のための対策は？ゲストの反応は？

A 年間パスを持っているゲストからは、休園中のことなどについてたくさんの質問が来ました。キャストも、それについて対策をとりました。

Q9 東日本大震災の被災者支援などは行っているか？どのような支援か？

A ブルーの”We are One”と書かれたチャリティーリストバンド（一個 300 円）の販売を行いました。その売り上げは、被災地への義援金へ回しました。また、ミッキーなどの仲間たちも、4 月 23 日に、被災地を訪れました。

インタビューを終えて

今回のインタビューに丁寧に答えてくださったカメダさんは、私が質問をしている時でも、嫌な表情一つせず、終始笑顔だった。

カメダさんに限らず、ここディズニーランドでは、キャストの全員が笑顔を絶やすことがない。そして、非常に丁寧である。小さな子供たちには、視線を合わせ、きちんと膝を折って話す。売店では、とびきりの笑顔で、購入した品物を手渡してくれる。こちらが道を尋ねて、「ありがとうございました」と言って去る時でも、「いってらっしゃいませ」と笑顔で手を振ってくれる。ディズニースタッフのあらゆる対応は、私たちの心をとても温かくしてくれる。「ああ、楽しかったなあ」という気持ちで、家路につく。このような「夢の国」に、「また行きたい」と思わないはずがない。世界一の来場者数を誇る東京ディズニーランドの、人気の秘密はここにあると感じた。

なぜ、東京ディズニーランドのキャストは、一日中とびきりの笑顔を保つことができるのか。それは、一人ひとりが仕事を楽しみ、ゲストに「夢を届ける」という使命が浸透しているからだと思った。会社の売り上げを上げるという意味においても、仕事をしている本人が仕事を愛し、顧客のことを考えなくてはならない。カメダさんが「自分も楽しむと、ゲストも楽しんでくれる」と語っていたように。

今回のディズニーランド訪問では、多くのことを学んだ。特に、働くこと、仕事をすることとはどういうことか？について考えさせられた。一つの答えとして、「自分の仕事を愛し、常に顧客のことを考えること」を得た。東京ディズニーランドの人気の秘密を知ることだけでなく、深く考察することが

できたという貴重な機会を感謝している。

(文責 棕野晶子)

④ 被災地訪問 (棕野)

被災地に赴いて

今年の7月初旬、親戚の住む東北へ足を運んだ。宮城県涌谷町である。石巻湾から約20キロ内陸寄りに位置する小さな町だ。大地震のあとの東北の様子を知る、良い機会になるとも思った。涌谷町は被害が少なかったこともあって、テレビに映る生々しい映像を肉眼で見ることは無かったが、それでも所々に木材や瓦礫が積み上げられていた。

私が宿泊した先の親戚は、皆大地震を経験していた。

話を聞くと、まず、ライフラインが一切絶たれたそう。3月の東北はまだ寒いのに、ストーブに使う灯油を買うのに7時間も並んだという。給与所で水をもらうにも、何時間もかかったとのことだ。そのような日が、何週間も続いた。

最も印象に残っていたのが、高校3年生のいとこの話だ。

地震があった当日、彼は学校にいた。津波で迫ってきた水で、学校が浸水状態になったそう。家に帰れるはずもなく、彼は三夜を学校で過ごし、四日目に水浸しの町の中を、自転車をこいで家路についてた。

学校の窓から見た町の様子は、まさに「生き地獄」のようだったと、彼は語る。至る所で火が発生し、炎が燃え上がっていた。学校の中でも、食べるものも無く、精神状態も不安定になったとのことだ。

そう彼が語るまなましい話の中でも、私の胸を特に衝くものがある。

震災当日、彼の学年の生徒は、一人を除いて全員学校にいた。彼らは、水が引いてから家へ帰ったので無事だった。学校に来ていなかったのは、風邪で学校を休んでいた女生徒だった。彼女は風邪で、たまたま自宅にいたのだ。その彼女の自宅は、ちょうど津波に吞まれる場所にいた。彼女は、今も尚行方不明のままという。

いとこの学校で、そんなことがあったなんて！テレビのニュースから流れ出る生々しい映像や、死者行方不明者の数をまだ心のどこかで信じ切れていなかった私は、急に「3月11日」を強く、身近に感じた。震災の被害の予想以上の大きさと、そこに伴う痛ましさ、被災地に漂う陰陰とした不安に、ひんやりと手が触れた。

東京へ帰る直前に、母の叔父が、海岸のほうの、もっと被害が大きい場所へ連れていこうか、と言った。しかし、叔母や、いとこたちは反対した。「きっと、精神的に大きなショックを受けて帰ることになるから」と。私が感じた「生」の震災が、まだとても小さくことなら、親戚が行くことに反対した海岸地域の被害は計り知れない。ニュース映像が伝えている以上に、「3月11日」の様子は深刻だ。

(文責 棕野晶子)

⑤ 留学生へのインタビュー (櫻井)

1986年4月26日チェルノブイリで原発事故が起こった。チェルノブイリ後に生まれ、鹿児島大学に留学している2人、マリアとニコライにチェルノブイリと福島について英語でインタビューした。

日時 2011年8月12日



Miss KHOMENKO MARIA OLEXANDRIVNA

年齢 21 歳

国籍 ウクライナ

滞在期間 10 ヶ月

目的 留学 日本語 来日を強く希望

2011 年 9 月にウクライナに帰国、来年大学を卒業する。

来日して驚いたこと 違いを感じたが、ショックはなかった。

日本の好きなのところ アサヒビール 文化・伝統（着物）

日本の嫌いなのところ バス

日本に望むところ 捕鯨をやめてほしい

Mr. Nikolay Gyulemetov

年齢 24 歳

国籍 ブルガリア

滞在期間 4 年半

目的 留学 政治学・人文学

2012 年 3 月に鹿児島大学卒業後、大学院進学予定。

日本が好きなので、卒業後も滞在を希望。

来日して驚いたこと 日本人は丁寧、誰に対しても尊敬の念を持って接している。

これは他の国にはない。日本だけだ。

日本の好きなのところ 清潔、安全、責任感、秩序、何でも手順通り、命令に従う

日本の嫌いなのところ 強すぎる連帯責任、時間の無駄

日本に望むところ 米軍に頼らず、日本の軍隊を作るべきだ。

ブルガリアのような小さい国でも軍隊があり、イラクに派兵した。

N はニコライ、M は MARIA が回答

Q: チェルノブイリ事故（1986 年 4 月 26 日）発生時何をしていたか？どんな影響？

N: チェルノブイリ事故以降に誕生

チェルノブイリにより沢山の子供が亡くなった。近所の子供も 6 歳の時、小児がんで亡くなった。事故のことはあまりよく覚えていない。小学生の時、 Kommunizmus が崩壊したから 1989 年以降、教科書にチェルノブイリの情報が出た。それまでは秘密だった。

Q: チェルノブイリについてどう思うか？ソ連の対応についてどう思うか？

M: ソ連政府は正しい事をしなかった。秘密にしていた。爆発のせいで亡くなったのは 40 人くらいだが、

チェルノブイリは大きい街なので、事故直後、沢山の人が被害を受けた。水は汚染された。政府が避難させた 30 キロ圏内は狭かった。事故は起きてしまったから仕方がないが、政府は必要な情報を開示しなかった。原発事故の時生まれた世代の子供には、100 キロ圏内であれば、奨学金が出され、入試がなく大学に入学できた。自分は 300 キロ離れていた。

Q: 福島原発事故が起きた時どう思ったか？

N: チェルノブイリは人災だが、福島は人災ではなく天災だ。技術も違う。チェルノブイリに比べると、福島は放射能があまり空中に出ていないので、黒い雨（放射性物質を含んだ）が降っていない。政府が公表しなかったのも、正確な情報を得られず、チェルノブイリの事故はほとんど知らなかった。日本の場合はちゃんと公開している。

Q: 日本政府の対応についてどう思ったか？

N: 日本政府の対応は遅かった。会議が多すぎて、迅速な対応ができなかった。大災害の時には、一刻の猶予もなく、誰か一人の責任者がどんどん引っ張っていかないと時間がもったいない。

Q: 日本から離れたと思ったか？ 不安や心配を感じたか？

N: 日本を出たいと思わなかった。不安でもなかった。ブルガリアでは日本は消えてなくなってしまったという報道がなされたそう。海外の反応が過剰だったように思う。鹿児島大学ではドイツ人留学生が 2 名すぐに帰国した。多くの外国人が日本を離れたが、それは日本に対して失礼なことだと思った。外国人は自分の国に帰れるが、日本人は他に行く場所はないのだから。例えば、ドイツ政府が日本在住のドイツ人に帰国するようにいった。ドイツ人は日本人と似ていて、命令に従う。帰国したドイツ人留学生も政府と家族に帰国を促され、帰ったといっていた。

Q: これから日本はどうするべきか？

M: 今やっていること（復興）をどんどん続けるべきで、もう地震で失ったことを考えない方がよい。前向きに考えた方がよい。起こってしまったことだから。被災者のために募金をし、それぞれできることをして、皆で助けるべきだ。

N: ドイツが原発をすべて止めるといったがそれはおかしいと思った。フランスから購入している電力は原発でつくられたものだ。日本が原発をやめるのは無理だと思う。原発で作っていたエネルギーをすべて自然エネルギーに変えられるほどの土地が日本にはない。今回の事故をもとに、もっと安全な原発の開発に日本の技術を応用すべきだ。日本は正しい事をしているので、今はがまんして続けるしかない。募金やボランティアをずっと続けるべきだ。

Q: 地震時の日本政府、日本国民の対応をどう思ったか？ 日本への考え方が変わったか？

N: カトリナハリケーンと日本の今回の地震を比べると

米国では南北戦争以来はじめて軍隊が暴動を抑えるために国内に出動した。日本ではそういう無秩序が起こることがなく、国民が皆頑張っていた。日本の国民はすごいと思った。でも政府はそんなにすごいと思った。インドネシアの津波やハイチの地震でも盗難や暴動がひどかった。日本にはこのような大災害にもかかわらず、本当に秩序があった。称賛に値する。

今回の地震で見た日本のよさは、チームワークスピリットが強いこと。みんなでがんばろうという意

気込みがすごかった。

悪いところは、話し合いに時間を費やしすぎ、時間の無駄が見えた。政府にリーダーシップがなかった。上層部は皆責任転嫁して自分の責任を逃れていた。

Q:なぜ日本がたくさんの国から援助を受けたと思うか？

M:よくわからないが、困っている人を助けたいという気持ちから、あるいは後で日本に助けてもらいたいから？

N:第二次大戦で日本がやったことはもうずいぶん前のことなので、その影響はない。日本は変わったと思っている。今は日本が世界中で一番慈善活動をしている国だ。そのイメージが強い。今でもこだわっているのは、中国、韓国、北朝鮮だけだ。気にする必要はない。

Q:日本に一言

M:友人の中に JAICA で活動している日本人がいる。彼女は海外生活が長く、地震のニュースを見たとき非常にショックを受けた。彼女自身日本人だけれど、混乱の中、被災者だけでなく、日本人全体が警察などの指示にきちんと従っているところをニュースで見て、驚いたそう。日本以外にそんなことができる国はない。だからこのままきれいで美しい国でいてください。

N:がんばれ！

日本人らしくみんなで助け合って、それを続けていってほしい。日本も日本人も大好きだ。日本はきっと蘇る！
(文責 櫻井芳野)

(A2) レポート完成までの歩み OUR STEPS TO NIKKEI STOCK LEAGUE

2011 年 4 月～ 読書会開始 (E-team)

2011 年 7 月 2 日～4 日 東北被災地(宮城県涌谷町)訪問 (棕野)

2011 年 7 月 24 日 オリエンタルランド 東京ディズニーランド 視察訪問・インタビュー (棕野)

2011 年 8 月 5 日 麻生ラファージュセメント 田川工場 視察(櫻井)

飯塚病院 視察(櫻井)

麻生塾 視察(石・櫻井)

麻生介護サービス(石・櫻井)

福岡雙葉学園 訪問(石・櫻井)

2011 年 8 月 6 日 株式会社 麻生 本社にて

麻生ラファージュセメント代表取締役社長・福岡雙葉学園 理事

麻生泰氏にインタビュー (石・櫻井)

2011 年 8 月 12 日 チェルノブイリに近い東欧で生まれ育った鹿児島大学留学生 2 名

KHOMENKO MARIIA OLEXANDRIVNA さんと Nikolay Gyulemetov さんにインタビュー(櫻井)

2011 年 8 月 19 日 第 9 回 アジア太平洋都市サミット 実務者会議 in 鹿児島 聴講(櫻井)



「日本大震災被害報告」危機管理課 黒川 政彦 課長補佐

東北地域(福島県いわき市)の現状報告

国連 HABITAT 星野幸代さんの報告

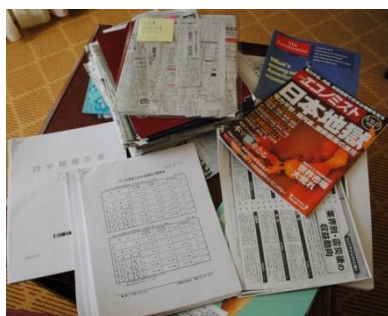
自然災害の多いアジア・太平洋地区のインフラ

ミクロの面から今の都市課題について その他

2011 年 8 月 26 日 オリエンタルランド インフォメーションに電話で問い合わせ (櫻井)

2011 年 8 月 26 日 オリエンタルランド 総務に電話で問い合わせ (櫻井)

2011 年 11 月 4 日 旭化成 アメリカ 会社訪問・インタビュー (E-team)



2011 年 11 月 サンクスギビング休暇を利用し、合宿 (E-team)

2011 年 12 月 22 日～ 冬休み メンバーそれぞれ帰郷 神戸の石、ニューヨークの棕野、鹿児島県の櫻井と離れているので、スカイプやネットでやりとり

2012 年 1 月 6 日 日本 22:00～ NY8:00～ スカイプで最終確認 レポート完成

(A3) 参考文献・参考サイト REFERENCE

サカタのタネ : <http://www.sakataseed.co.jp/>

麻生フォームクリート : <http://www.asofoam.co.jp/>

清水建設 : <http://www.shimz.co.jp/>

日揮 : <http://www.jgc.co.jp/>

旭化成 : <http://www.asahi-kasei.co.jp/asahi/jp/>

三菱ケミカルホールディングス : <http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/>

ロート製薬 : <http://www.rohto.co.jp/>

オリエンタルランド : <http://www.olc.co.jp/>

東芝 : http://www.toshiba.co.jp/index_j3.htm

トヨタ : <http://toyota.jp/>

三菱商事 : <http://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/>

麻生ラファージュセメント(株) : <http://www.aso-lafarge-cement.jp/>

飯塚病院 : <http://aih-net.com/>

麻生塾 : <http://www.asojuku.ac.jp/>

麻生介護サービス(株) : <http://www.aso-group.jp/group/detail.php?id=61>

The Stock Market Game : <http://www.smgww.org/>

ロイター : <http://jp.reuters.com/investing/quotes>

Shares : <http://www.shares.ne.jp/>

Uilet : <http://www.uilet.com/>

Yahoo!ファイナンス : <http://finance.yahoo.co.jp/>

Big Mac Index : <http://bigmacindex.org/2011-big-mac-index.html>

ドラッカー学会 : <http://drucker-ws.org/>

ほぼ日刊イトイ新聞 はじめてのドラッカー : <http://www.1101.com/drucker/>

ウォーレンバフェットの名言 : www.earth-words.net/human/warren-buffett.html

Metabolomics Arita Laboratory, The University of Tokyo (東大 理 有田研) :

http://metabolomics.jp/wiki/Main_Page

Japan Day 2011 : <http://www.japandaynyc.org/>

<http://www.youtube.com/watch?v=G7Ye-HYY5Rs&feature=related>

Occupy Wall Street : <http://occupywallst.org/>

THE WALL STREET JOURNAL

THE NEW YORK TIMES

THE ECONOMIST

日経 会社情報 2011IV 野村グループ

STOCK FANTASY 株式をめぐる僕らの冒険

『Economics』 Robert L. Pennington *Holt, Rinehart and Winston*

『論語と算盤』 渋沢栄一著 角川ソフィア文庫

『現代語訳 論語と算盤』 渋沢栄一著 守屋淳訳 ちくま新書

『巨人・渋沢栄一の「富を築く100の教え」』 渋沢健著

『ドラッカー入門』 上田惇生著 ダイヤモンド社

『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』

岩崎夏海著 ダイヤモンド社

『エッセンシャル版 マネジメント 基本と原則』 P.F. ドラッカー著 ダイヤモンド社

『100分de名著 ドラッカー マネジメント』 上田 惇生著 NHK テレビテキスト

『Management: Tasks, Responsibilities, Practices』 Peter F. DRUCKER Harper Business

『The Essential Drucker』 PETER F. DRUCKER Harper Business

『Warren Buffett —SPEAKS— Wit and Wisdom from the World's Greatest Investor』

JANET LOWE John Wiley & Sons, Inc.

『9割がバイトでも最高のスタッフに育つディズニーの教え方』 福島文二郎著 中経出版

『ディズニー 感動のサービス』 小松田 勝著 中経文庫

『死にいたる地球経済』 浜 矩子著 岩波ブックレット

『3・11後の日本経済』 大沢真幸・岩井克人著 左右社

『天然ガスが日本を救う 知られざる資源の政治経済学』 石井 彰著 日経BP社

『How to Solve It』 G.POLYA Princeton University Press

(A4) Our team メンバー紹介

石 欣怡 Shi Xinyi 17歳

日経 STOCK リーグに参加したことによって、経済の仕組みや会社のあり方などなかなか深く学ぶことができないことを学ぶことができた。麻生ラファージュセメント株式会社や旭化成株式会社の見学、インタビューを通して更に深く学ぶことができた。

麻生ラファージュセメント株式会社でのインタビューでは、福岡にある本社など実際に見学させていただいた。会社の方針や思いなどを麻生泰社長が詳しく説明してくださった。質問にも丁寧に答えてくださった。麻生社長はとても社交的で気さくな方であり、お目にかかった社員の方々も素敵な人たちだった。



旭化成株式会社の会社訪問では、私たちの質問に資料を使って説明し、丁寧に答えてくださった。サランラップだけでなく、旭化成が展開している他の事業や製品などを知り、とても驚いた。北米以外の国に関するビジネスについて伺えたことも魅力的だった。会社

概要を知り、その存在が身近になった。

このような会社見学、インタビューなどの貴重な経験はなかなかできないことだ。まさに私にとって人生の宝ものとなった。作業を進めていくにつれ、経済についての知識が増えるだけでなく、深く考えるようにもなった。今まではあまり経済学や経営学などの分野は興味が湧かなかったが、STOCK リーグに参加して、興味が深まった。参加できて本当によかった。

椋野 晶子 Mukuno Akiko 16 歳



日経ストックリーグの参加は、私の社会への見方を変えた。今回株を買ったオリエンタルランドが経営している、東京ディズニーランドへインタビューに行ったときに、特にそう感じた。取材目的でディズニーランドへ行くなんで、初めてのことだったが、キャストの方一人ひとりの行動をよく見てみると、新たな発見もたくさん生まれた。キャストの方は皆笑顔で、楽しそうに仕事をしているということ。誰に対しても真心を込めて対応しているということ。ディズニーランドの施設は、どこをとっても常にピカピカだということにも気が付いた。それまでは、私にとって「友達と遊びに行く定番の場所」だった東京ディズニーランドが、急に新鮮に、違って見えてきた。人気の裏には、たくさんの人たちの力と、汗があったことに改めて気づいた。

東京ディズニーランドだけに限らず、これは全ての会社・企業にいえることだろう。私たちの身の回りは、様々なモノで溢れている。そしてそれらのモノは、一人の手で作られたわけでは決して、ない。今着ている洋服も、アパレル会社で、工場で、何人もの人の手でつくられたのだ。いつも使っているペンも、携帯電話にも、それをつくった会社があって、社員—それこそその会社の「キャスト」（東京ディズニーランドでの「従業員」の呼び方。ディズニーランドが、夢を提供する場所であることから、「オンステージ」と呼ばれる。その仕事をするのが「キャスト」）の方の力があるのだ。

そしてそれらの会社を応援し、株式投資をする人々がいる。会社も、企業も、一つで成り立っているのではなく、私たち顧客があってこそ成立しているのだ。ストックリーグで学んだ様々なことが、私の頭の中でつながった。経済や株式について何も知らなかった私は、急に世界が広く見えた気がした。

先輩に誘われて、参加した日経ストックリーグは、私の経済への理解を深め、視野を広げてくれた。この学習を通じて培った知識は、間違いなく私の糧となった。将来大人になって、社会へ出た時も、それは役に立ってくれるだろう。日経ストックリーグに参加したことを、心からよかったと思う。

櫻井 芳野 Yoshino Sakurai 18 歳



中学 1 年生から日経 STOCK リーグに参加し、今回で 5 回目になる。中学 3 年の時、最優秀賞をいただいた。表彰式の後、あるビジネスマンの方から学校宛にお手紙をいただいた。その方は私たちのプレゼンテーション発表を見、レポートを読み、仕事の前に、レポートに目を通すのが日課となっているそうだ。自分の書いたものが誰かの目に止まったことに驚き、嬉しかった。審査委員の故三原淳雄さんも「中学生に教えられた」
<http://www.mihara-atsuo.com/keyword/back/20090316.html> とブログに書いてくださった。三原さんを唸らせたいと前回は張り切った。ご冥福をお祈り申し上げます。

日経 STOCK リーグで私は本当に多くのことを学んだ。素晴らしい方々にも出会えた。今まで得たすべての知識を生かして、大好きな日本に少しでも貢献できるような仕事がしたい。